

令和元年度（H30年度実績） 総合評価書　　＜施設名　多治見市勤労者センター＞

1. 指定管理者名	公益財団法人　多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成30年　4月　1日　～　平成33年　3月31日
3. 業務の範囲	(1)　センターの使用許可に関すること。 (2)　センターの維持管理に関すること。 (3)　勤労者等の福祉増進を目的とした事業の運営に関すること。 (4)　使用料等の徴収、収納に関すること。

採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)		①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	■H28年度管理期間 平均利用率 全体利用率 (41+33+49)/3＝41% 大研修室 (1,434時間/293日×12時間)＝41% 会議室A (1,173時間/293日×12時間)＝33% 会議室B (1,739時間/293日×12時間)＝49% ■H29年度管理期間 平均利用率 全体利用率 (44.0+34.5+47.5)/3＝42% 大研修室 (1,547時間/293日×12時間)＝44% 会議室A (1,211時間/293日×12時間)＝34.5% 会議室B (1,669時間/293日×12時間)＝47.5% ■H30年度管理期間 平均利用率 全体利用率 (39.5+37.2+49.6)/3＝42% 大研修室 (1,547時間/293日×12時間)＝39.5% 会議室A (1,211時間/293日×12時間)＝37.2% 会議室B (1,669時間/293日×12時間)＝49.6% 平均値比は若干減少。年々利用率が上昇していることが要因。楽器練習や製図作業、ボディケア整体、勉強会など利用目的が多様化し、リピーターも多く、定期利用者が増加しているため。また、新規事業による利用も主な要因となる。	4点	
						平均値比(104%)＝H30年度利用率(42.0%)/上記(1)(40.3%)					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(109%)＝H30年度利用人数(26,125人)/上記(1)(23,925人)	105%以上 5点	■H28年度利用人数 23,734人(+1,292名) ■H29年度利用人数 25,600人(+1,866名) ■H30年度利用人数 26,125人(+525名) リピーターが多く、今まで実施してきた事業から定期利用者が増えてきている。また、手形アート同好会は自主事業としても開催しギャラリー展示や広報紙などで宣伝に努めた結果、多くの参加者増に繋がった。	5点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	勤労者センターをより幅広い方に利用してもらうため、偏りを少なく広いジャンルで、更に利用者どうしの交流が生まれ、継続性のある企画実施をしている。	仕様書以上 12点	毎年人気のある卓球教室、健康増進体操、ダンス、フラッシュ加工体験教室は継続実施。更に親子deリズム体操、キッズ体操、手形アートなど若い世代向けの新規事業を実施。幅広い世代の方々に利用いただける運営を行っており、世代間の交流も図られる企画運営が実施されている。	12点				
		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点	事業実施数は90回(前年度比△15回)となるも、魅力ある事業や定期利用により利用人数は増加している。また、親子でリズム体操や卓球等の自主事業の積極的な土日開催により、土日の利用人数は対前年度比146.8%と大幅増加。	期待以上 13点	事業実施回数は、前年度と比較して減少しているものの、イベントの定例化や質の向上により集客率は上昇している。また、展示は途切れないよう誘致に努めている。比較的利用の少ない土日の利用について、魅力ある自主事業を開催することで土日利用者の大幅な増加を生むことできた。	13点				
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	1日1回以上の清掃等実施されている。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数実施。館内清掃、敷地内外の除草実施。	10点	
				②保守・点検			空調機器は年3回(5月、7月、10月)点検実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に実施されている。		
				③保安・警備			1日1回以上の施設内見回り、月1回の非常用通報装置点検実施、年2回の消防訓練実施、年1回の防火対象物の定期点検実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
				④小規模修繕			・エアコンスイッチ取替・2階倉庫壁破損箇所修繕・南出入りロドアストッパー修繕・卓球台老朽化、破損により貫替・女子トイレドア開閉不具合修繕・	適正(普通) 2点	日常的な見回りにより、劣化や故障は早期に対応。修繕だけでなく、よりよく利用してもらえるように改善を進めている。		
				⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			点検が適正に実施されている。	適正(普通) 2点	日常的な見回りが実施されている。		
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)		①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	効率的に業務ができるよう、キャビネットに整理整頓・保管されている。	10点	
				②環境への配慮			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	従業員はもちろんだが、利用者へも電気等使用に関する呼びかけを行う。(こまめな消灯等)		
				③バリアフリー			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	扱いやすい軽量な台車、清掃用具を揃え、高齢層の利用が多い当施設でのバリアフリーに努めている。		
				④備品管理			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	備品台帳登録品目全ての点検作業の実施および備品台帳の見直し。		
				⑤個人情報保護			事故なし	適正(普通) 2点	外からは事務所内の机が見えず、個人情報となりうる資料やパソコン画面等が人目に触れないようになっている。		
				⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし		事故なし・対応に不備なし 0点
		3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入÷支出＝9,346,576/10,147,904＝92.1%	100%未満 3点	支出が収入を上回っているが、修繕箇所に迅速に対応していること、積極的に施設改善を行っている事による。	3点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	大ホールにミラー設置(3台)。玄関スロープの雨の滑り対策。大ホールの床ワックスメンテナンス。	期待以上 9点	直接寄せられた利用者の声だけでなく、アンテナを高くし利用者のふと出た言葉等をキャッチし応えようとする姿勢が見られる。また、ニーズに応えることで勤労者センターに求められている姿に合わせ変化しようとしている。	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情無し。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情無し。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	会議室Bの利用促進増に伴う改良工事、扇風機・電気ストーブ(ロビー)設置、ロビー照明の一部LED化。	期待以上 13点	来館者により快適に過ごしていただくような空間創造ができている。会議室Bについては、傷のひどい壁を新しく貼りがえるなど、より一層利用者に気持ちよく使ってもらえるように施設管理できている。また、センターのPRだけでなく、利用者の活動のPRにも貢献している。	13点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れ等、特になし。	遅れ・不備なし 減点なし	遅れ・不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示等への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり・減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・良好な管理がされている。 ・利用者の視点に立ち、施設清掃・改善・事業実施が行われている。		合計83点	良好